

## 県出身経営者ら 古里へアイデア

### 都内で発表会

全国で活躍する県出

身者らの経験を熊本  
のために生かす県の  
「熊本コネクション  
プロジェクト」の総会  
が21日、東京都内であ



「熊本コネクションプロジェクト」総  
会で県が抱える課題解決案の発表で最  
優秀賞を受賞した「U・I・Jターン促進」  
チーム＝21日、東京都千代田区

り、首都圏在住の経営  
者や会社員、熊本から  
参加した学生らが、県  
が抱える課題解決のた  
めのアイデアを発表し  
た。

4チームがそれぞ  
れ、「観光情報発信」  
「県産品販路拡大」「県  
出身者同士のネットワ  
ーク構築、強化」「U

I・Jターン促進」のテ  
ーマで発表。参加者1  
50人の投票で最優秀  
賞を選出した。

受賞した「U・I・Jタ  
ーン促進」チームは、

熊本への移住希望者が  
地域での生活をイメー  
ジしやすくするための  
取り組みを発表。既に  
熊本に移住した人たち  
による情報発信のほ  
か、県出身者が経営す  
る会社の支社機能の県  
内移転を促進する必要  
性などを発表した。

チームの代表で、両  
親が熊本出身という会  
社員の中山寛さん(46)  
「東京在住」は「市町  
村それぞれで課題やや  
りたいことは違うは  
ず。県というひとつく

りではなく、それぞれ  
の思いをくみ取った処  
方箋を考えたい」と話  
した。

(嶋田昇平)

# 県内企業 魅力知って

東京でセミナー 大学生ら参加

県は25日、県内企業の魅力を発信するセミナーを東京都内で開き、首都圏に住む県出身の大学生や転職を考える人たちが参加企業の説明に耳を傾けた。

全国で活躍する県関係者と県内企業などを結び付ける県の「熊本コネクションプロジェクト」の関連事業。セミナーは昨年からUターンにつながる狙いで開いており、2回目。製造業や百貨店、不動産など県内の10社が参加。各社の人事担当

者らが、業界の見通しや自社の特徴などを紹

介した後、それぞれブースに分かれて個別の相談に応じた。

熊本市出身で早稲田大1年の下舞創平さん(20)は「就職の際に県

内に戻ることも考えているので参加した。あまり知らない企業の業務内容が分かって良かった」と話していた。

(内田裕之)



参加者に個別に説明する県内企業の人事担当者ら  
= 25日、東京都中央区

# ゆかりの人脈復興に活用

県は、熊本地震からの場企業などと結び付ける復興に向け、インターネ人材バンク構築事業。2ツト上の仮想法人「クマコネプロジェクト」に「社員」は現在、IT

の活躍を産業界や地域活性化に活用する事業を9月にも本格化させる。

クマコネは、首都圏を中心に活躍する県出身者や県内勤務経験者を、地

場企業などと結び付ける復興に向け、インターネ人材バンク構築事業。2016年度にスタートした。

「社員」は現在、IT企業経営者やデザイナー、マスコミ関係者ら約500人。それぞれ営業

や企画、広報、販売促進など希望の「部署」に登録、熊本に貢献できる得



仮想法人クマコネプロジェクトの「社員」向けに発行された第1号の会報誌

## 県の仮想法人「クマコネ」来月にも本格化

意分野をアピールしている。

今年1月には東京で発足イベントを催し、交流会も開くなど準備を進めてきた。17年度は、県内企業の販路開拓や新たなビジネス創出を目指した「社員」の積極活用策を民間から募り、事業化する。

事業費は約1200万円。県はこれらの取り組みを通じて県内への移住促進にもつなげたい考えだ。

登録は無料で、クマコネプロジェクトのホームページから可能。「社員」にはメールや会報誌で県内情報を届ける。

(太路秀紀)